

地域で仲間づくりをすすめよう

○日頃から人と人のつながりを大切にしましょう。

日頃の福祉活動をはじめとする地域活動で把握した地域の情報を、災害時にも活用できるようにしておきましょう。

○様々な機会を捉えて地域づくりをすすめましょう。

地域の防災訓練やお祭り、運動会、イベントなどを通じてコミュニティを創造し協力しあえる地域づくりを目指しましょう。

○地域の課題を共有しましょう。

あなたの地域のみなさんが、「防災」・「福祉」といった地域の課題を学習しながら、地域のみんなの共通の認識としてすすめます。まずは、みなさんが学習しながら仲間づくりをすすめる事が大切です。

○コミュニティ活動の基本は、民主的な組織運営です。

日頃からみんなの意見が反映されるよう、話し合いを十分に行い、決して多数決に頼ったりしないことです。小さな意見を聞いていくという姿勢が大切なことです。

○地域の中で防災活動に従事できる人がいるかなど、皆で話し合ってみましょう。

- ・力のある人はどこにいるのか。
- ・炊き出しのできる人はだれか。
- ・消火の事をよく知っている人はだれか。
- ・自治会等ごとの昼間・夜間の活動可能な人などを確認しましょう。



本部組織とブロック組織

(1) 本部組織

- 本部は、ブロックを包括する組織で、消防団、自治会、婦人会、老人クラブ、民生委員児童委員協議会、PTA、青少年育成協議会、商店街、企業などの役員から構成されます。
- 平常時は、自らの防災福祉コミュニティの防災訓練の企画、ブロック間の連絡調整、地域の福祉活動と防災活動の連携を目的とした各組織間のネットワークづくりをすすめます。
- 災害時は、地区の運営本部を立ち上げ防災福祉コミュニティ内の被災情報の収集、その結果に基づくブロック間の災害応援指示などを行います。

(2) ブロック組織

- ブロック組織は、地域での助け合い活動が行いやすいように、小学校区を地域の広がりに応じていくつかに区分したものです。
- より迅速・的確な活動のためには、あらかじめ消火、避難誘導などの活動班のすべき内容を決めておきましょう。災害時の初動活動は、ブロックの活動が極めて重要です。
- 地域で「どのような被害が発生する恐れがあるのか、また、その被害程度は」、「そのとき何をすべきか」、「誰が活動できるのか」といったことをみなさんで話し合い、それぞれの地域特性に応じた活動班づくりをしましょう。
- 各班の担当者は、日頃から、放火されやすい箇所はないか、落石危険箇所はないか、地域にはどんな防災資機材が必要なのかなどの視点から地域を見てみましょう。こうした視点を踏まえた活動は災害予防という点で地域の防災力を高めるとともに、災害時には、各班の力を効果的に発揮します。



組織体制の例



第1章
市民防災リーダー

第2章
防災福祉コミュニティ

第3章
災害を知る

第4章
防災資機材・訓練メニュー

第5章
その他

防災福祉コミュニティへの支援

防災福祉コミュニティなどの地域活動に対する支援・助成金にはさまざまなものがあります。ここではそのいくつかをご紹介します。

防災福祉コミュニティへの支援策

日々の防災活動を行うにあたって、神戸市では以下のような支援を行っています。

(1) 資機材の配布

結成時に地域で選択した資機材（救助用、消火用など）を配布します。



※配布資機材の一例

(2) 活動費の一部助成

運営活動費（申請期間：4月1日～5月31日）

防災福祉コミュニティの運営に伴う事務経費や会場借上料、訓練等の活動に要した経費などを活動費として1地区あたり上限14万円を助成しています。

提案型活動費（申請期間：4月1日～5月31日）

地域特性に応じた活動や先駆的な活動に対して、予算の範囲内で1地区あたり上限20万円を助成しています。

防災資機材整備助成（申請期間：10月1日～10月31日）

結成当初に配備した防災資機材の老朽化に伴う更新及び新たな活動に必要な新規資機材の購入に必要な費用を予算の範囲内で助成しています。

※運営活動費及び提案型活動費の申請は、年度初めに行いますので、前年度末までには役員会などで、来年度の訓練計画などを話し合っておく必要があります。（金額は令和3年度現在）

(3) 消防係員地区担当制による支援

各防災福祉コミュニティに対して専属の消防係員（地区担当者）を指定し活動を支援します。訓練の相談などは、あなたの地区の地区担当者までお気軽にご相談ください。

(4) 市民防災リーダー研修の実施

各消防署では、近隣住民の先頭に立って防災活動を行う防災リーダーを養成するため、市民防災リーダー研修を実施しています。受講にあたっては各消防署にお問い合わせください。

(5) 防災マネジメント研修の実施

地域全体の防災活動をまとめることが出来る「統括防災リーダー」の養成を目的に、防災マネジメント研修を実施しています。

(6) BOKOMI サポーター制度

「BOKOMI サポーター」として登録された大学のボランティアグループや防災に関する専門的な知識を有する団体等の方が、地域活動の支援（防災訓練、防災研修など）を行う制度です。※令和3年度末現在10団体が登録

関連ホームページ：

<https://www.city.kobe.lg.jp/a10878/bosai/shobo/bokomi/activity/supporter.html>



(7) その他

消防署、消防団などが訓練の支援を行います。

消防車の展示や音楽隊の演奏、地震体験車の体験などを訓練に取り入れることができますので、地区担当者までご相談ください。（スケジュールによっては参加できない場合があります）



地震体験車



消防職団員



消防車両等



消防音楽隊

その他の支援策（活動費助成など）

(1) 「ひょうご安全の日推進事業」（兵庫県）

「ひょうご防災減災推進条例」に基づき、阪神・淡路大震災の経験と教訓を発信し、安全・安心な社会づくりを推進するため、日々の生活の中で防災減災に取り組む「災害文化」を広める事業の支援をしています。

関連ホームページ：<https://19950117hyogo.jp/>



(2) 震災教訓継承（語り部）のご案内

阪神・淡路大震災からの経験や教訓を知っていただき、今後発生する災害に備えていただくよう、震災経験についての幅広いキャリアを持つ人をお願いをして、震災当時のことを語る「語り部」を派遣する取り組みを行っています。

関連ホームページ：

<https://www.city.kobe.lg.jp/a46152/bosai/prevention/preparation/cmc/kyokunkeisho/index.html>



(3) 「協働と参画」推進助成

神戸市では、市民のみなさんとの「協働と参画のまちづくり」をすすめています。この助成制度は、行政だけでは気づかない・解決できない地域課題を、市民のみなさんのアイデアを活かして、市民と行政が協働により、解決に取り組む活動を支援するものです。

関連ホームページ：

<https://www.city.kobe.lg.jp/a56164/kurashi/activate/support/npo/suishinjose.html>



(4) 地域提案型活動助成

地域での課題の解決のために地域で実施していく活動について、活動経費の一部助成を行います。各区で内容が異なるため、詳しくは各区まちづくり課にお問い合わせください。

関連ホームページ：

<https://www.city.kobe.lg.jp/a56164/kurashi/activate/support/introduction/proposal.html>



(5) 「ぼうさい探検隊」(社団法人日本損害保険協会)

小学生を対象とした実践的な安全教育プログラムで、楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめ発表する、実践的な安全教育プログラムです。

関連ホームページ：

https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai_sp/



(6) 「出前トーク」

市政をわかりやすくお伝えするとともに、みなさんのご意見をお聞かせいただくための制度です。くらしに身近な問題や、関心のある市の事業など、聞いてみたいテーマを選んで「ご注文」ください。

関連ホームページ：

<https://www.city.kobe.lg.jp/a84159/shise/kocho/talk/index.html>



この他にも、行政や各種団体が行っている支援策は探せばまだまだあると思います。

消防署や区役所でもさまざまにご相談に対応させていただいておりますが、広報誌やインターネットなどを活用すると、普段からより手軽にこまめにチェックすることが可能です。

地域の活動にマッチする助成制度があれば、積極的に利用されてみてはいかがでしょうか。



「活動の手引き BOKOMIbookmark(防コミブックマーク)」を活用しましょう！

消防局では、平成 21 年 3 月に、地域の訓練などの活動を支援するため、活動の手引き書「BOKOMI bookmark」(防コミブックマーク)を作成し、地域の役員等へ配布しています。地域で訓練を計画あるいは実施する際の参考にしてください。

(地域の訓練などを支援する消防団へも配布しています。)

これには、各種訓練のメニュー紹介や、訓練の進め方などが記載されています。

《主な内容》

- ・ 防災福祉コミュニティとは
- ・ 阪神・淡路大震災の概要
- ・ 神戸市等の支援策の紹介
- ・ 各種届出事務の紹介
- ・ 年間行事計画の立て方
- ・ 訓練の進め方



〈個別訓練の紹介〉

- ・ 消火器訓練
- ・ 小型動力ポンプ取扱訓練
- ・ バケツリレー訓練
- ・ 情報伝達訓練
- ・ 救急訓練 など



※訓練に必要な資機材や、必要人員、訓練方法などについて具体的に記載されています。

《防災リーダーとしての活用法》

訓練を指導する際などには一度目を通しておくとよいでしょう。地域の方へお話する際のちょっとした話題づくりの参考となる、以下のような項目もあります。

☆「ワンポイントアドバイス」

訓練を実施する際に、その訓練をより効果的に実施するためのアドバイスが記載されています。

地域の方へお話する内容としても活用できます。

☆「参加者の方へ…」

訓練に参加した方が、お家に帰ってからも話題にしてもらえるような内容や取組みを紹介しています。

☆「ちえぶくろ」

訓練を実施する時に参考になる工夫などを紹介しています。